

知働化研究会第2回(2009年10月15日)

プログラマの戒

時本永吉 @ NSD
eikichi63 @ exekt-lab.org

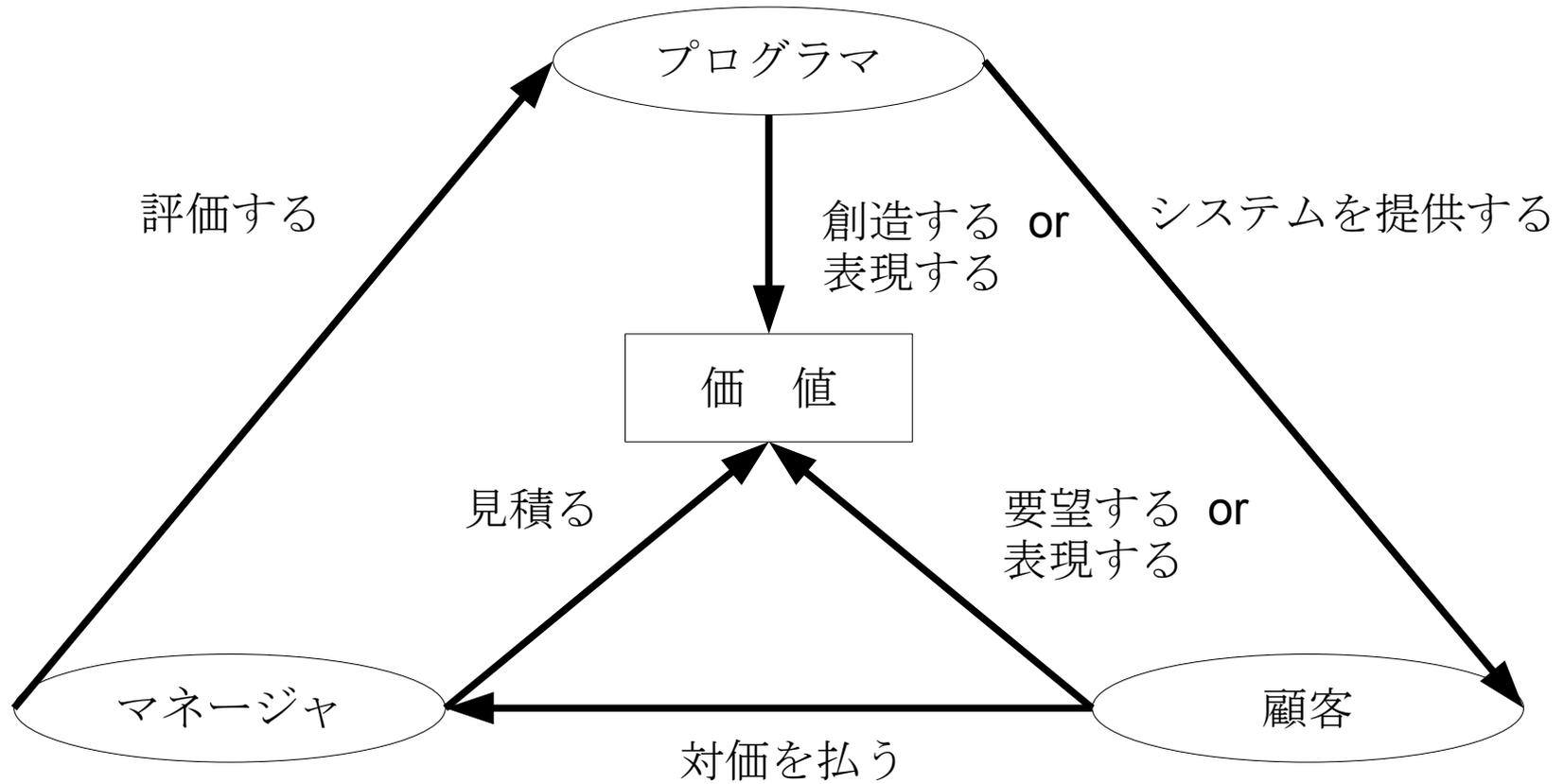
知働化

- 今まで聞いたこと
 - 人働説（人月）→知働説（価値）
 - 知で表現・評価すること

知働化のイメージ

- 言い換えると
 - 知の表現（知恵の知識化）
 - 表現された知を認識・評価できること
 - 人月でなく価値で見積もるための根拠
 - 価値の創造・評価を共有するための方法

価値の共有



どこから手を付けるか

- プログラマ→顧客
 - 顧客の欲求を満たす
 - プログラマの価値と顧客の価値の共有
- 顧客→マネージャ、マネージャ→プログラマ
 - ここで価値の共有ができるように（プログラマの成果を評価できるように）プログラマは振る舞わなければならない
 - プログラマ間でしか通用しない表現をしてはならない（プログラマ間でも通用していない？）
 - 「見える化」の適用ではなく「私を観て」と振舞う

プログラマのしていること

- 色々な方法論を活用して問題を解決する
 - 構造化、オブジェクト指向、アジャイルとか
 - 暗黙知を共有する
 - 行動できていたか？理解できていたか？
 - あるいは、できて当然だったことでは？
 - 「方法論」という言葉に振り回されていないか？
 - 「いろんなやり方で対応できる」が評価対象？
 - 「いろんなことに対応できる」が本来評価すべきことだが、モノ（第三者の評価を基準とするもの）の有無が評価基準（セールストーク）になっている

評価される世界

- 他者から評価される自分
 - いろんなことができなくても評価される
 - いろんなことができても評価されない
- 自身から評価される自分
 - 他人に評価されれば満足？
 - 法的に、倫理的に問題にならないければ問題ない？
- 様々な観点、様相

価値の評価

- 同じ価値を評価する
 - 価値を共有するための暗黙知の形成
 - その上でプログラマがやるべきこと
 - 法や倫理（律）は状況で変わる
 - 道徳（戒）はそもそもあるべきこと
 - 考え方の基準となるもの
 - この欠如は色々な考え方（方法論など）の理解を妨げる
 - 状況の変化に対応できないし、変わるための勇気が持てない
 - プログラマとして生きる覚悟
 - 「プログラマの戒」を定める

プログラマの戒

- 不定義
- 不問題
- 不々出来
- 不複雑
- 不動不覚悟

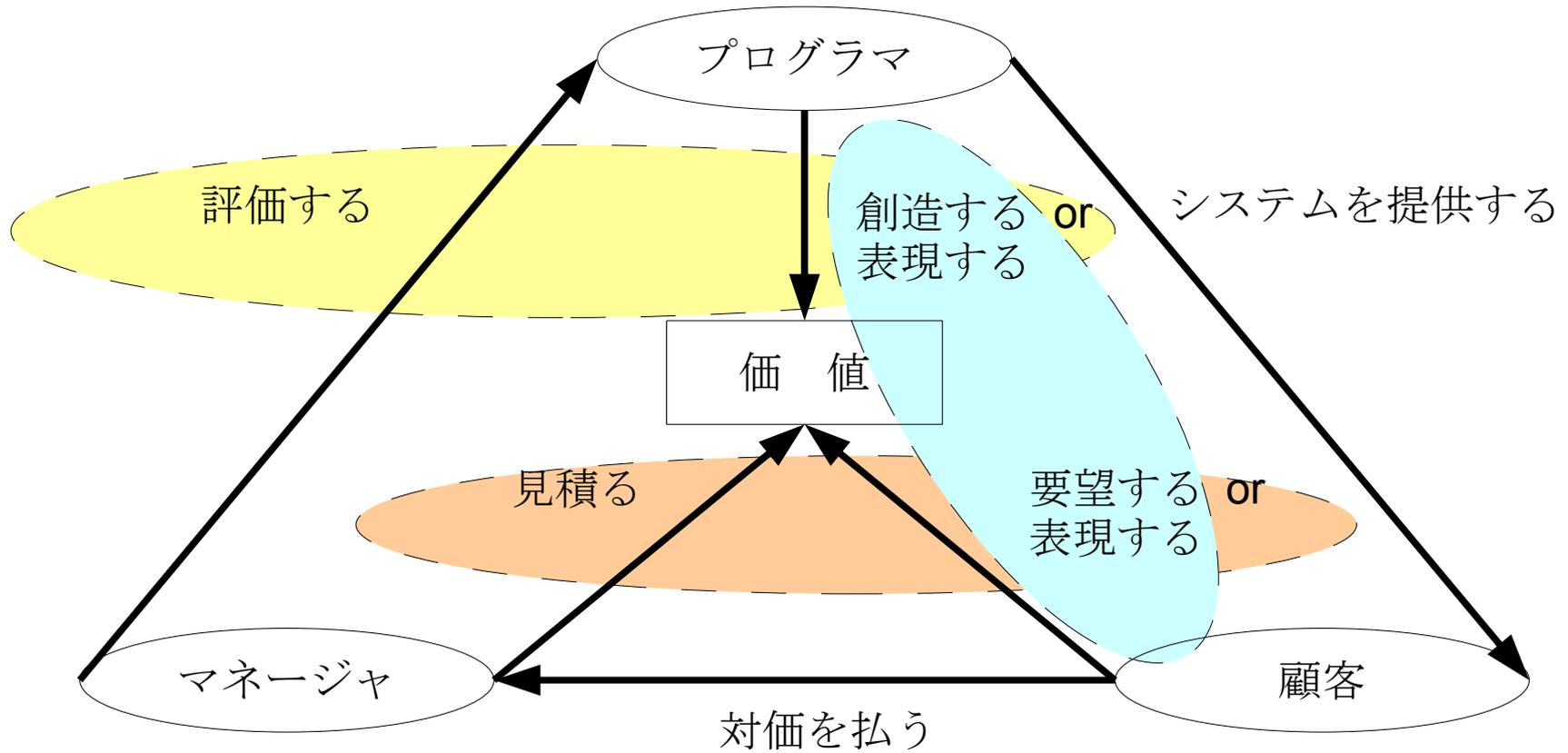
プログラマの戒

- 不定義（定義してはならない）
 - 自身の様相でしかなく、文脈や状況（合意形成）が意味を決定する。
 - 定義された方法論を適用することに意味はなく、方法論を利用することにより意味が確かなものとなる。
 - 定義したもの（システム）では、それを求めた意図（欲望）を満たすことを望んでいる。定義は変えるものではなく、意図・表現を変えたときに変わるものでしかない。相手の様相を捉える。
- 不問題（問題としてはならない）
 - 問題として認識したなら、そのように感じた原因を解決すれば、問題でなくなる。なぜ問題のままにしておくのか。
 - 因から果は導かれない。因（根本原因）を明確にするだけでなく、縁（間接原因、なぜそのようにしたのか？、意図）を明確にする。

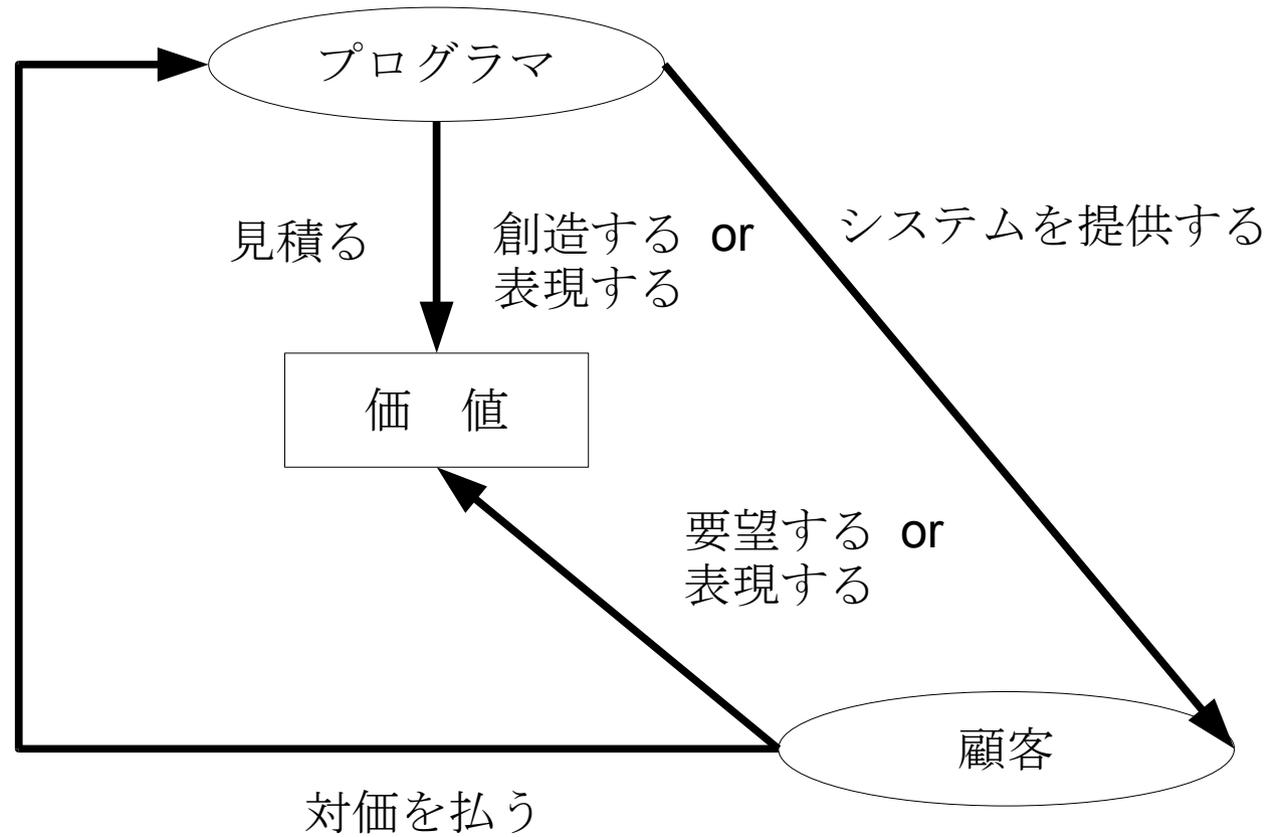
プログラマの戒

- 不々出来（出来ない、としてはならない）
 - 「出来ない」とは何らかの理由により、自身が「やらない」と決めた結果にすぎない。「出来る」とは「やる」と決めた結果にすぎない。そう決めた心の動きを捉えることに意味がある。「仕方がない」という言い訳をしてはならない。
- 不複雑（複雑にしてはならない）
 - 自身の思い込みが介入するから、物事が複雑に表現されてしまう。あるがままをとらえなければならない。同様に、自身の思い込みが介入した簡略化は物事を曲解し、情報を欠如させる。
- 不動不覚悟（覚悟のない行動をしてはならない）
 - 自身のやりたいようにやる。その結果生じるすべての事象に向き合う覚悟を持つこと。ミッションをクリアするには目先のことを解決するだけではない。問題を解決するとは、問題の中の問題も解決することを含む。

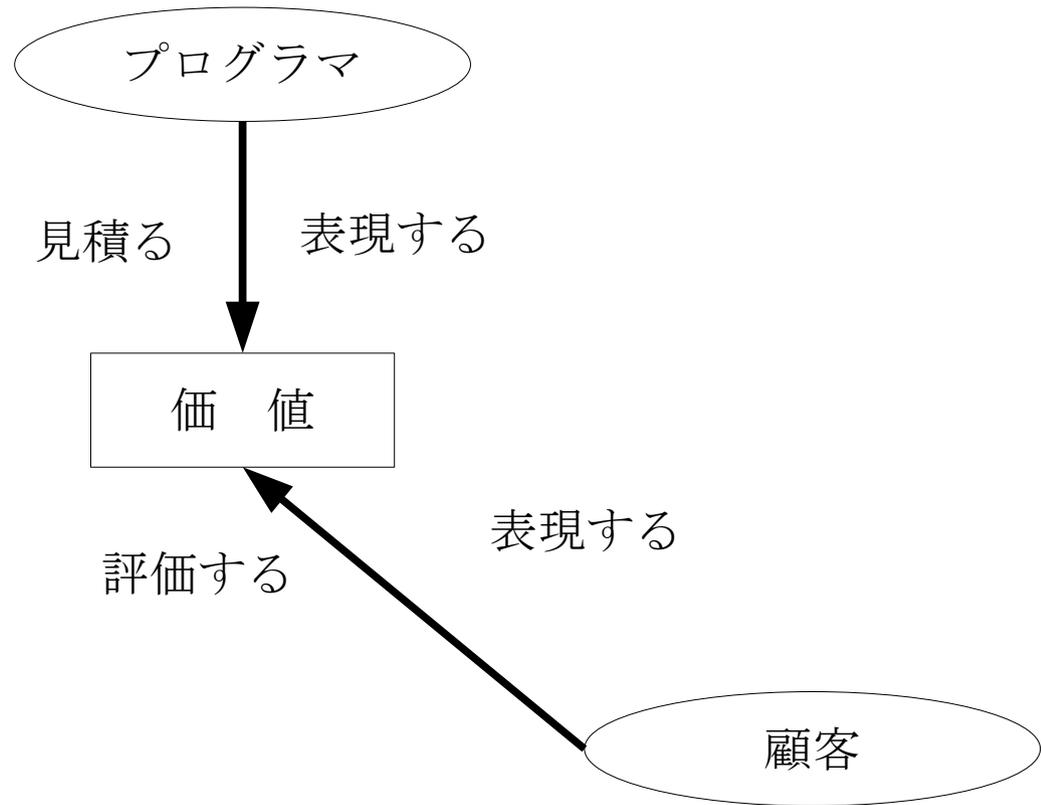
価値の共有



価値の共有



価値の共有



今後の活動

- 価値の唯識図の整理
 - プログラマの遷移
 - 第1段階：なんちゃってプログラマからの脱却
 - プログラマの戒
 - 千の言葉より一句当千となる一という言葉で表現
 - 第2段階：サラリーマンからの脱却
 - プログラマと顧客の価値共有
 - 第3段階：人月からの脱却
 - 顧客とマネージャの価値共有
 - マネージャとプログラマの価値共有

つづく